

Screen 2Room House

この度はスクリーン2ルームハウスをお買い上げいただき誠に有難うございました。テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

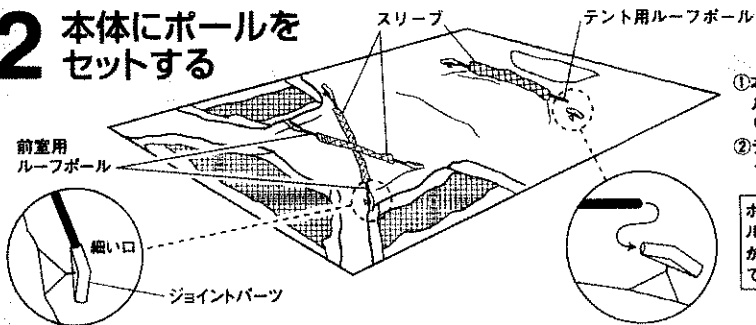
設営手順

1 セット内容の確認

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●本体 (インナー)	1張	
●フライシート	1張	
●前室用ルーフポール (FRP)	2本	
●テント用ルーフポール (FRP)	1本	
●前室用サイドポール (スチール・長)	4本	
●テント用ルーフポール (スチール・短)	2本	
●キャンピーポール	2本	
●自在ロープ	7本	
●ペグ	28本	
●ハンマー	1ヶ	

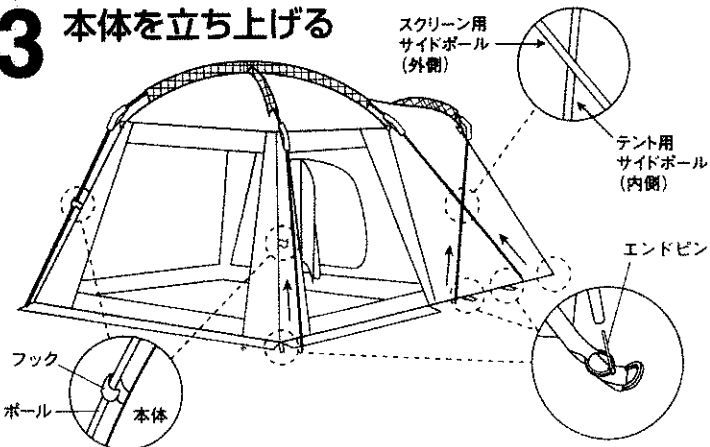
2 本体にポールをセットする



- ①本体を広げ、前室用ルーフポール2本を伸ばし、図のようにスリーブに通してください。
- ②テント用ルーフポールを同じようにセットします。

ポールは引き入れると中でポールが抜け、継ぎ目にスリーブ等が引っ掛かります。押し入れてください。

3 本体を立ち上げる



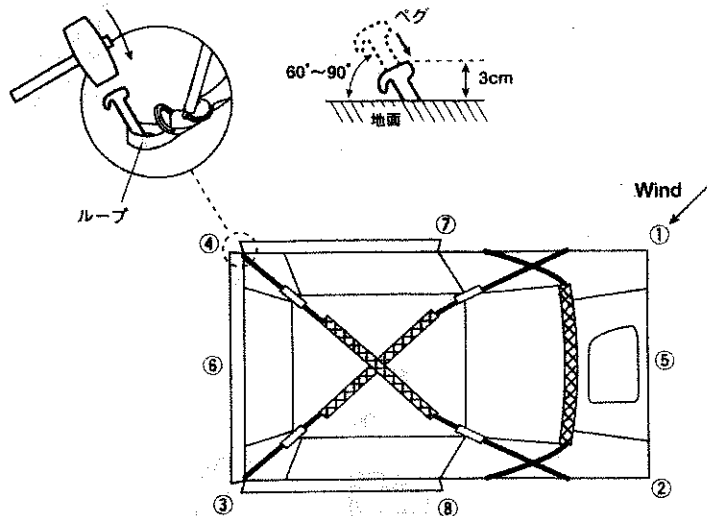
- ①出入り口は空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開にしておきます。
- ②前室用サイドポール、テント用サイドポールをジョイントパーツの太い口側へ差し込んでください。同時に矢印の方向へ押しながら、本体を立ち上げてください。

前室用とテント用のサイドポールがクロスしますがテント用サイドポールが内側になります。

- ③立ち上げましたら手前のエンドピンにポールをセットしてください。
- ④本体についているフックを各ポールに掛けて、固定してください。

フックで手をはさまぬよう注意してください。

4 設営位置を決めペグで固定する

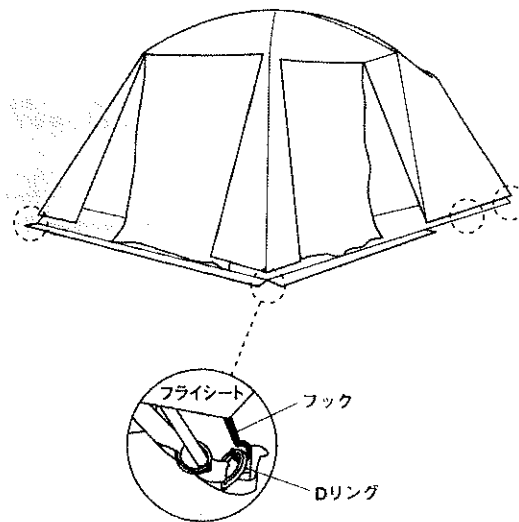


- ①図の様にループを風上より順(①~⑧)にペグを打ち、本体を固定してください。

出入口は風下に向けると風の影響を受けにくくなるので、全体(テント、タープ等)のレイアウトをあらかじめ決めてからテントを固定してください。

ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

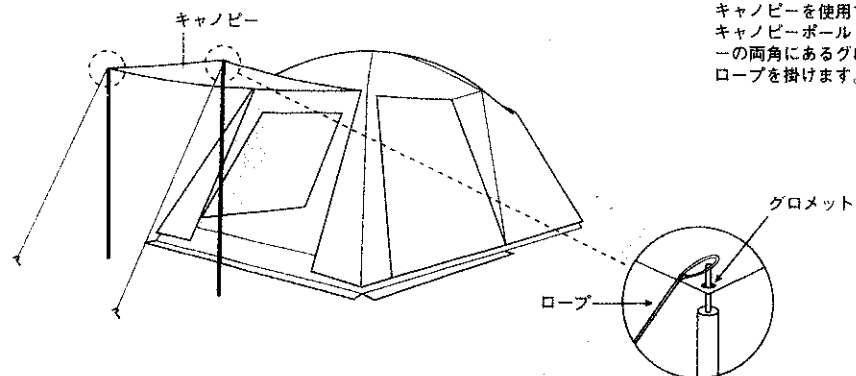
5 フライシートを本体にセットする



- ①フライシートを図のように本体にかぶせ、フックを本体のDリング(上側)にひっかけて固定します。
- ②フライの内側についているマジックテープを本体のポールに固定します。
- ③フライシートのラバーリングをペグ打ちしてください。

できるだけ、フライが本体から離れるような位置にペグ打ちしてください。

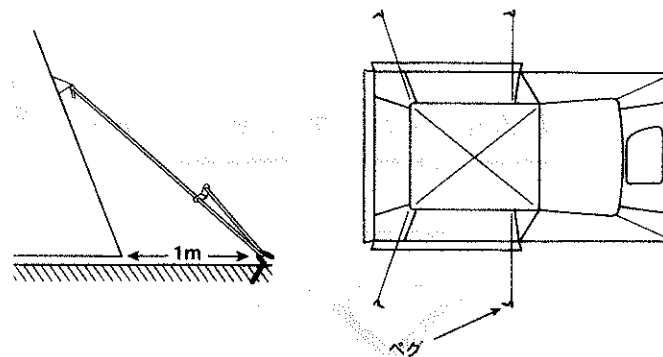
6 キャンピートの活用



キャンピートを使用する際は付属のキャンピートポール2本をキャンピートの両角にあるグロメットに通しロープを掛けます。

7 ストームガードシステムの活用

大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。



- ①まず自在ロープの端をストームガードのループに固定します。そして打ったベグにロープをかけて自在をしめあげます。
- ②左図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にベグ打ちして固定します。
- ③自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

⚠ 取扱上の注意

●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水遣が生じることがありますが(結露)これは水濡れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

⚠ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。●生地の変色などは市販のリペアキットで補修が可能です。パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。